



釣りの帰りに

秋元なおと



ある日、東のある国に3日間で百を超えるいん石の落下があった。

数メートル程度の小さいいん石群だったが、

不幸にもある島の原子力発電所が被災した。

いん石が落ちた多くの街で復興が進む中

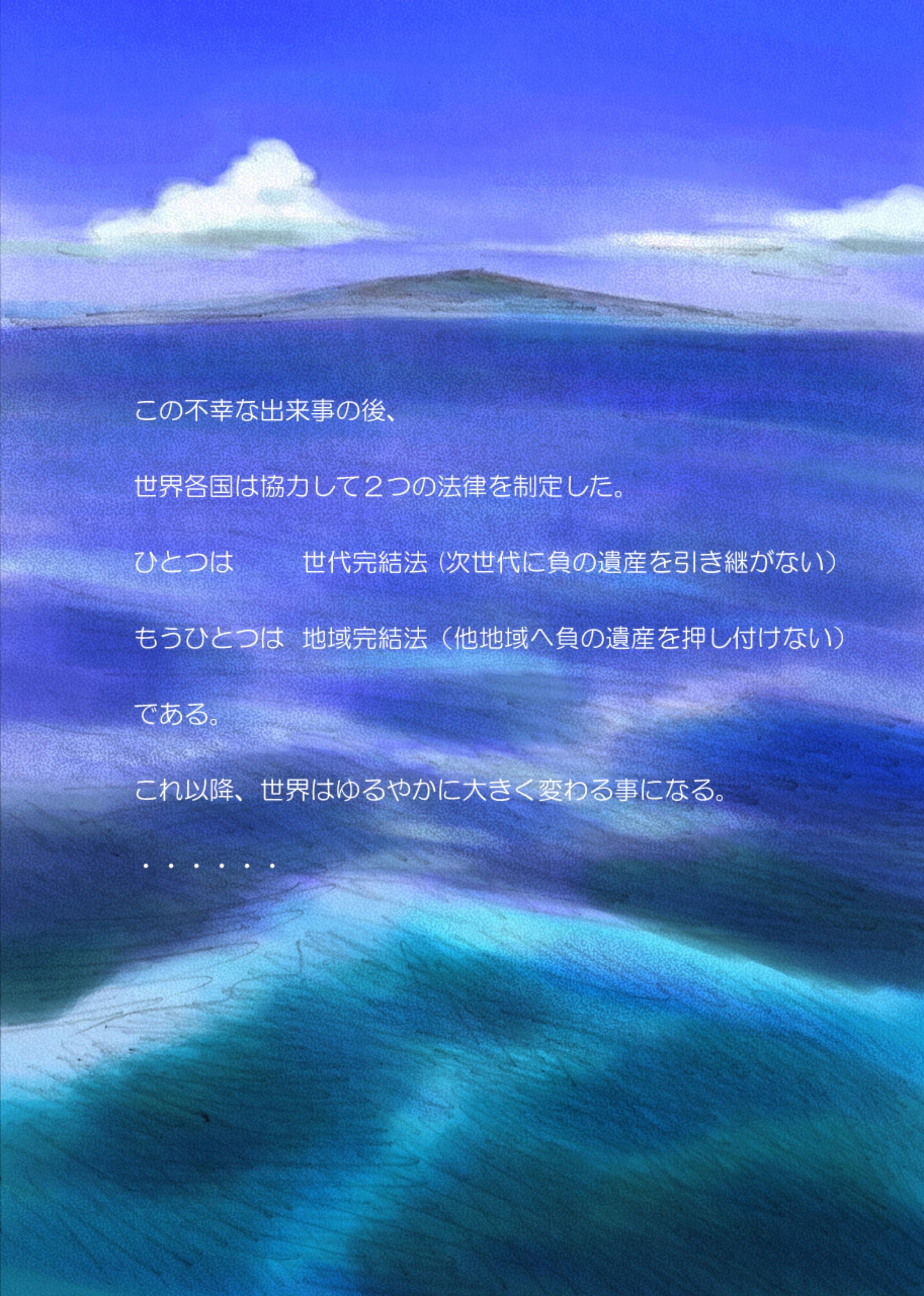
その島だけは人が立ち入れず放置された。

以来立ち入り禁止のその島には変なうわさが広がった。

異型の怪物がいる。恐竜が復活した。当たりがある。鬼が住んでいる。

いつしかその島を「鬼ヶ島」と呼ぶようになった。

.....

The background of the slide features a soft-focus landscape illustration. It shows rolling green hills in the foreground and middle ground, with a bright blue sky above. There are wispy white clouds scattered across the sky.

この不幸な出来事の後、

世界各国は協力して2つの法律を制定した。

ひとつは 世代完結法（次世代に負の遺産を引き継がない）

もうひとつは 地域完結法（他地域へ負の遺産を押し付けない）

である。

これ以降、世界はゆるやかに大きく変わる事になる。

・ · · · ·

A painting of a person sitting on a sandy beach, fishing from a small boat. The sea is a deep blue with greenish reflections. In the background, a massive, billowing white cloud dominates the sky, resembling a nuclear explosion or a giant wave. The overall mood is surreal and somber.

いん石は落ちないかもしれない。

原子力発電所にそれが当たる確率はゼロに近いかもしれない。

それでも将来にわたって管理を強いられる廃棄物を作ることは嫌だ。

核反応の熱で

お湯を沸かしてモーターを回し

電気を作るためだとしても。

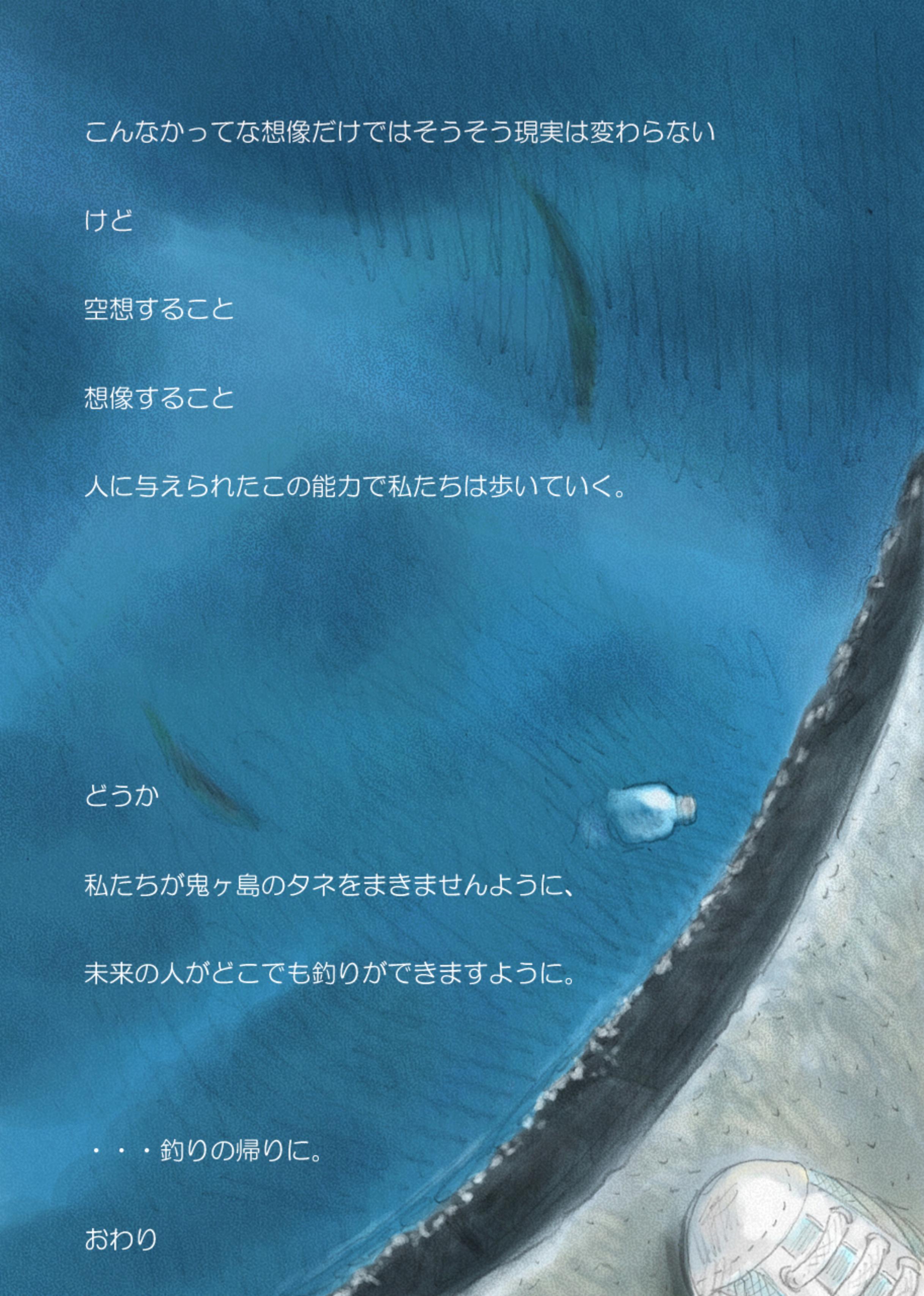
核兵器を作って

自分を守るためにだとしても。

それで利益を得て生活する

人がいるとしても。

別のある方法があるはずだ。その知恵と勇気は持っていると信じたい。



こんなかってな想像だけではそうそう現実は変わらない

けど

空想すること

想像すること

人に与えられたこの能力で私たちは歩いていく。

どうか

私たちが鬼ヶ島のタネをまきませんように、

未来の人人がどこでも釣りができますように。

・・・釣りの帰りに。

おわり